（様式１）

日本医療研究開発機構　革新的がん医療実用化研究事業
がん・難病ゲノム医療推進研究プログラム【GM-1】 研究開発提案書

研究開発課題名 （英語表記）	日本語表記	○○に関する研究開発 e-Rad の記載と一致させてください
	英語表記	Study of ○○
公募名（事業名）		公募要領第 2 章 2.1 の「分野、領域、テーマ等」一覧から選択してください。 例）がんゲノム医療の推進に資する全ゲノム解析等の戦略的データ収集及び研究基盤の構築に関する研究 （小児がん領域） サブ項目：GM-1-2（革新的がん医療実用化研究事業）
		□公募要領第 2 章 2.3 を参照し、上記サブ項目番号に対応する公募の内容を十分確認した。 ※確認したら☑ サブ項目ごとに設定されている上限額を超えないように留意してください
研究開発期間（本提案における全研究期間）		令和 XX 年 X 月 X 日　～
研究費総額（直接経費）		全研究期間での総額（ X0,000 千円） ※「7.各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。
ヒト全ゲノムシークエンス解析及びヒト全エクソーム解析		□実施する　　□実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。
研究開発代表者	氏　名 フリガナ	○○○○　○○○○
	氏　名 漢　字	○○　　○○
	氏　名 ローマ字表記	Yyyy Yyyyyy
	性　別	□男、 □女、 □その他、 □回答したくない
	生年月（年齢）	19XX 年 XX 月（XX 歳：令和9年 4 月 1 日時点）
	所属機関（正式名称）	○○法人○○大学
	所属部署（部局）	○○学部○○学科
	役　職	○○
	通知書等送付先住所	〒○○　○○　○○県○○市○○町
	電話番号	○○
	E-Mail	○○
	研究開発代表者の情報	https://www.……
研究開発代表者の研究歴 （主な職歴と研究内容）		

注 提出する際には、青文字の記載例を削除してください。

要約（和文）

■概要など、e-Rad と提案書で重複がある項目は、提案時に e-Rad に記入されている必要はありません。

■A4 縦 1 ページ以内
■背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）、
目的（背景を受け、本課題を実施する目的）、
方法の概略（どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか）、
概要を記載してください。

　○○
○○○
○○○○○○。○○
○○○
○○○
○○○
○○○
○○○
○○○
○○○
○○○
○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○
○○○
○○。○○○○
○○○
○○○
○。○○○
○○○
○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○
○○○○○○○○○○○○○。

1. 研究の背景・目的

(1)背景

・国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入してください。

・研究開発代表者のこれまでの研究成果を踏まえ、本研究開発の着想に至った経緯について記載してください。本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請と本研究計画の関係を明確にしてください。

(2)研究の目的(1,000 文字以内)

・1000 文字以内で、研究開発の目標(研究開発期間終了時に達成しようとする研究開発成果の目標)、研究開発のねらい(上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義)、研究開発の準備状況(これまでに進めている部分の概略)を具体的に記載してください。

2. 研究計画・方法

(1)研究開発の概要(1,000 文字以内)

・研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法について、1000 文字以内で記載してください。
・臨床研究においては、具体的内容(基本デザイン、エンドポイント、統計学的考察、登録数設定根拠など)を記載してください。シェーマがある場合は掲載してください。
・採択条件に記載されている条件に沿った研究体制であること、さらに、症例集積計画と研究開発期間内に実施するマルチオミックス解析を含む全ゲノム解析等の実施内容について記載してください。また、臨床情報のフォローアップの体制についても記載してください。
・連携する臨床試験については自走可能であることも記載してください。
・臨床情報について質の高い経時的な臨床情報収集の効率化について記載してください。
・患者・市民参画に関する取組についても記載してください。
・バリアント等の臨床的意義の解析を行う研究計画についても記載してください。研究開発期間内に臨床試験の立案を行う場合はその計画についても記載してください。

(2)研究開発の内容

・研究目的を達成するための研究開発の具体的手法、研究開発期間中の到達点とその達成度の判断基準などを、主要な研究開発項目毎・年度毎に分けて、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。
・複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。

研究開発項目①:〇〇〇〇〇

・研究開発項目及び研究担当者(研究開発代表者、研究開発分担者)は、「6. 研究開発の主なスケジュール」の記載と一致させてください。
・研究開発代表者、研究開発分担者等の具体的な役割を明確に記載してください。
・各研究開発項目について、本公募事業で支援予定の研究開発期間を超える計画については、令和〇年度以降としてまとめて簡潔かつ明確に記載してください。
・研究開発項目③以降がある場合は、適宜、項目を追加して記入してください。

● 研究担当者(所属機関・部署・役職・氏名)

1)〇〇大学　〇〇学部　教授　◇◇　△〇
2)～複数名の場合は続けて記入してください。

● 研究開発の目的及び内容

研究開発の目的及び内容を 200 字程度で簡潔にまとめてください。

● マイルストーン及び研究開発方法

上記の「●研究開発の目的及び内容」を達成するために当該研究担当者が実施するマイルストーン(達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項)、及び達成のための方法を年度毎に記入してください。

「6. 研究開発の主なスケジュール」と整合性をとった記載にしてください。

令和9年度:

令和 10 年度：

令和 11 年度：

令和12 年度：

令和13 年度：

令和14 年度以降：

研究開発項目②：○○○○○（「6. 研究開発の主なスケジュール」の研究開発項目②と一致させてください）

● 研究担当者（所属機関・部署・役職・氏名）

1）○○大学　○○学部　教授　◇◇　△○

2）

● 研究開発の目的及び内容

● マイルストーン及び研究開発方法

令和 9 年度：

令和 10 年度：

令和 11 年度：

令和12 年度：

令和13 年度：

令和14 年度以降：

(3)研究協力体制について(下記の体制が整備されている際には、詳細を記載してください)

・(3－1)生物統計家の関与については、臨床試験を計画している研究の場合、必ず記載してください。

・(3－2)疫学専門家の関与については、必要に応じて記載してください。

・チェック欄「□」は、該当する箇所を「■」にしてください。

(3－1)生物統計家の関与

a. 生物統計家の関与

■有(詳細：研究協力者　大手町大学・生物統計学教室教授　英目戸　恵子)

(主な関与：■研究企画立案(データ取得前)から　□統計処理(データ取得後)のみ　□その他)

(主な関与でその他を選択した場合、詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

□無／検討中

(理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

b. 生物統計家の専門性について

上記「a. 生物統計家の関与」において、『有』にチェックをした場合は、必ず記載してください。

①関与する生物統計家の学歴

〇〇。〇〇。

②関与する生物統計家の職歴(研究歴)

〇〇。〇〇。

③臨床試験への関与の経験の有無　　■有　　□ 無

④関与した試験の内容(具体的に)

〇〇〇マブと〇〇〇マブによる〇〇〇療法の第 3 相ランダム化二重盲試験において、・・・・・・。

⑤専門資格の有無　　■有(以下より選択ください。)□無

■日本計量生物学会 試験統計家認定制度

(□責任試験統計家 □実務試験統計家)

□その他

(上記以外の資格等：　　　　　　)

（3－2）疫学専門家の関与

a. 疫学専門家の関与

■有（詳細：研究協力者 大手町大学・疫学研究室教授 英目戸 恵子）

（主な関与：■研究企画立案（データ取得前）から □統計処理（データ取得後）のみ □その他）

（主な関与でその他を選択した場合、詳細：　　　　　　　　　　　　　　　）

□無／検討中

（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

b. 疫学専門家の専門性について

上記「a. 疫学専門家の関与」において、『有』にチェックをした場合は、必ず記載してください。

① 関与する疫学専門家の学歴

〇〇。〇〇。

②関与する疫学専門家の職歴（研究歴）

〇〇。〇〇。

③これまでに関与した研究の内容（具体的に）

〇〇。〇〇。

④専門資格の有無　　　　　　　■有（以下より選択ください。） □無

□日本疫学会 疫学専門家認定制度

（□上級疫学専門家 □疫学専門家）

■日本臨床疫学会 疫学専門家認定制度

（□臨床疫学卓越専門家 □臨床疫学上席専門家

□臨床疫学認定専門家）

□日本薬剤疫学会 認定薬剤疫学家制度（認定薬剤疫学家）

□その他

（上記以外の資格等：　　　　　　　　　　）

（4）知財担当者について

知財担当者の関与の有無についてチェックしてください。また、具体の状況・希望等について記載してくだ

さい。

□無 ■検討中 □有 （詳細：AMED に支援を希望する ）

（5）倫理面への配慮

a. 遵守すべき研究に関係する指針等

研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」を「■」にしてください。複数の指針等が該当する場合は、それぞれ「■」を入れてください。

□ 再生医療等の安全性の確保等に関する法律
□ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
□ 遺伝子治療臨床研究に関する指針
□ 動物実験等の実施に関する基本指針
□ 臨床研究法
□ 省令 GCP
□ その他の指針等（指針等の名称： ）

b. 本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無

臨床研究の有無について該当する方の「□」を「■」にしてください。

□ 有（臨床研究の登録番号： ）
※ jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の登録番号などを記入してください。
□ 無

※「有」の場合は、予定される内容を記入してください。

対象疾患	予定される内容、実施時期

c. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

・相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。
・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換え DNA 実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究開発・実験などが対象となります。
・該当しない場合には、その旨記載してください。

〇〇。〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

3. 研究の将来展望

(1)社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出について(500 文字以内)

■本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲で 500 字以内で記述してください。

(2)「患者・市民参画(PPI)」や「国民との科学・技術対話」に対する取り組み等

＜社会との対話・協働の推進＞

「「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)」(平成 22 年 6 月 19 日科学技術政策担当大臣及び有識者議員決定)においては、科学技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学技術をより一層発展させるためには、科学技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠であるとされています。本公募に採択された場合には、研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する取組や多様なステークホルダー間の対話・協働を推進するための取組が必要です。このことを踏まえ、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信、多様なステークホルダーを巻き込んだ円卓会議等の「国民との科学・技術対話」について、積極的に取り組むようお願いします。

(参考)「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)

https://www8.cao.go.jp/cstp/stsonota/taiwa/taiwa_honbun.pdf

■本公募で採択された後、支援予定期間中の、PPI への取組、研究開発における研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する取組や多様なステークホルダー間の対話・協議を推進するための取組について、記載してください。

4. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名 生年月（年齢:令和9年4月1日時点） e-Rad 研究者番号※3	所属機関※1 所属部署（部局）※1 役職※1	現在の専門 学位（最終学歴） 学位取得年 役割分担	令和9年度 研究経費※2 （千円）	エフォート （%）
研究開発代表者	○○　○○ S49/11（XX） 	○○○○大学 △△△学部△△△学科 △△△	△△△ △△博士（○○大学） H14 年 研究の統括	X,XXX	XX
		（主たる研究場所）※1 △□大学 △△△学部△△△学科 □□□			
研究開発分担者	□□　○○ S50/11（XX） 	△□大学 △△△学部△△△学科 □□□	□○□ ○○博士（□△大学） H15 年 データの解析	X,XXX	XX
		（主たる研究場所）※1 △□大学 △△△学部△△△学科 □□□			
研究開発分担者					
計　2 名			研究開発経費合計	X,XXX	

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

※3　e-Rad 研究者番号を取得している場合のみ記載してください。

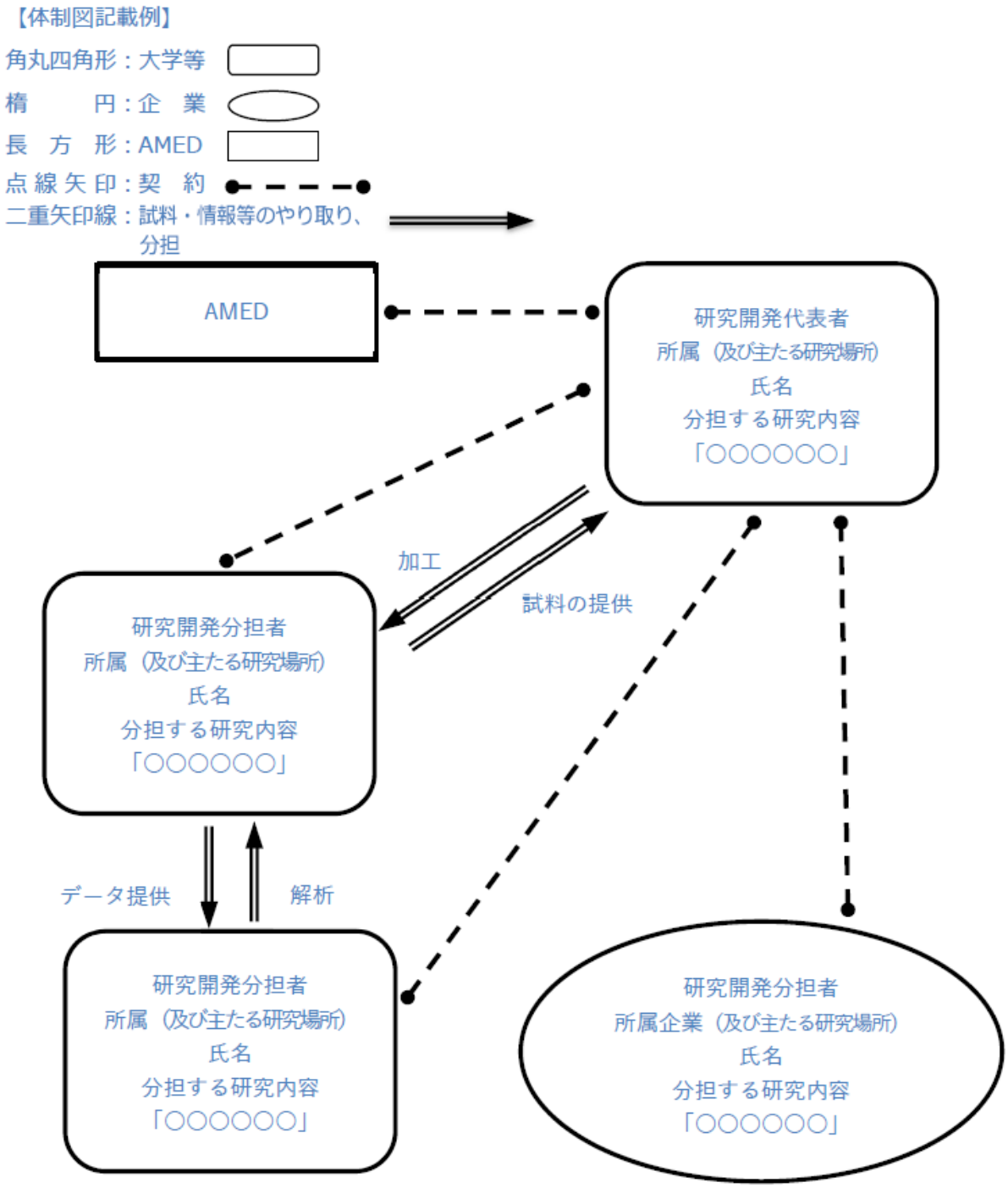
【研究開発代表者】上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

※主たる勤務場所が本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨を備考に記載してください。

機関名	所属部署（部局）	役職	備考

5. 実施体制図

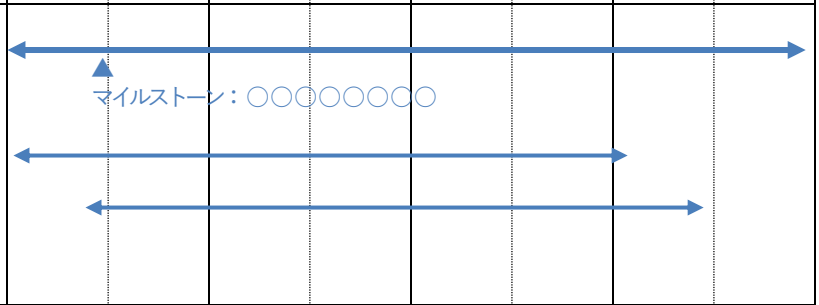
■代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。



6. 研究開発の主なスケジュール

■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。
※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項
■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。
※1頁以内で記載してください。
※研究開発項目は、「2. 研究計画・方法（2）研究開発の内容」に記載した研究開発項目と一致させてください。
■別途 Excel で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF 化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF 化後に必ずご確認ください。

＜担当者＞
①研究開発代表者：氏　名（○○○大学）
②研究開発分担者：氏　名（○○○機構）
③研究開発分担者：氏　名（（株）○○○）
・・・・

研究開発項目 ＜担当者＞	第１年度 （R9年度）		第２年度 （R10 年度）		第３年度 （R11 年度）		第４年度 （R12 年度）		第５年度 （R13 年度）	
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
（1）○○関連遺伝子発現解析 ・○○遺伝子の同定 ・○○遺伝子発現解析 ＜①②④＞										
（2）										
（3）										
（4）										
（5）										

7. 各年度別経費内訳

(1)委託研究開発費

・研究開発費(代表研究機関及び全分担研究機関について合算)の内訳を記入してください。
・間接経費は直接経費小計の 30%以下としてください。
・解析に要する費用については、採択後に GeMJ と協議し合意した内容について別途追加配賦を検討します。
なお、公募額(直接経費)の内で解析を実施することを妨げるものではありません。

(単位:千円)

大項目		中項目	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費						
		消耗品費						
	2.旅　費	旅　　費						
	3.人件費・謝金	人 件 費※1						
		謝　　金						
	4.その他	外 注 費※2						
		そ の 他						
直接経費　小計								
間接経費 (直接経費小計の 30%以内)								
計上額　総計								

■本公募では年度毎の予算上限があります。期間全体の予算上限ではありませんので、ご注意ください。

※1 研究力向上のための制度(PI 人件費)の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。(希望しない場合は、記載不要です。)

① 直接経費に PI の人件費(の一部)を計上することについて、PI 本人が希望していること。
② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。
③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

研究力向上のための制度(PI 人件費)とは?:https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html

対象者氏名(この研究でのエフォート率、申請額):○○○○(○%、約○○千円/年)
期待される効果:○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

■研究力向上のための制度(PI 人件費)に関する記載も審査の対象となります。
■当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。

※2 研究開発要素
フトウェア開発

（2）研究機関別経費

（間接経費を含めた金額を記入してください。）

・研究機関ごとの各年度の合計額を記入してください。

・分担研究機関が4機関以上ある場合は、行を追加してください。

（単位：千円）

種別	機関名	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12年度	R13年度	計
代表研究機関							
分担研究機関 1							
分担研究機関 2							
分担研究機関 3							
研究開発費合計額							

（3）直接経費の具体的な内訳や使用目的

「（1）委託研究開発費」の各項目の主な経費について、支出計画を具体的にお示しください。

特に（2.旅費）、（4.その他）については、「2　研究計画・方法」との関係や必要性がわかるように記載してください。

（例）・研究開発項目①の〇〇研究における△△に用いる□□の購入：●●千円

・研究開発項目②の CRO への外注（モニタリング及び監査費用）：●●千円

・R9年度〇〇学会における成果発表及び情報収集のための旅費（研究開発代表者他□名、出張先国名都市名（米国サウスダコタ））：●●千円

（1. 物品費）

（2. 旅費）

（3. 人件費・謝金）

（4. その他）

8. 研究業績

■「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき 1～15 編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付し、当該研究における研究開発代表者の役割を数行程度で記載してください。（研究開発分担者の欄に記載された論文・著書であっても、研究開発代表者が共著者であり、「●」が付されたものについては、当該研究における研究開発代表者の役割を数行程度で記載してください。）てください。

■研究業績の記載にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください。例えば、学術論文の場合は、著者名、論文名、掲載誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年（西暦）を記載してください。著書の場合は、著者名、著書名、その書誌情報などを記載してください。著者名のうち、「研究開発代表者」には二重下線を、「研究開発分担者」には一重下線を付け、明示してください。なお、学術論文の記載は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限ります。

■特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。この提案課題に直接関連するものについては「●」を付してください。

（1）研究開発代表者　〇〇　〇〇

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

〇〇〇〇〇〇ガイドライン（〇〇学会編　XXXX 年）

（2）研究開発分担者　〇〇　〇〇

＜論文・著書＞

● M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria……, Nature, 2019,10,45-54

（Researchmap のテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin
Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020 年 3 月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms
Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020 年 2 月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

9. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)、(3)その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。
■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記載してください。
■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

【研究開発代表者】

(1)応募中の研究費(令和　年　月　日時点)

(1-1)応募中の研究費　AMED 研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和 9 年度の研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由

研究開発課題全体(直接経費)の総額
例)(6,000+1,000(分担者))×3 年

【本研究開発課題】 （R9～R13）	○○と△△の相関に関する実験的研究 （○○○○）	代表	6,000 [18,000]	20	（総額　21,000 千円）*

申請者本人への配分予定額（直接経費）

研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）

＊（　）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

（1-2）応募中の研究費　AMED 以外の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名 （研究開発代表者氏名）	役割 （代表・分担の別）	令和 9 年度の研究経費（直接経費） ［期間全体の額］ （千円）	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・基盤研究 B（R9～R11・日本学術振興会）	○○と△△に関する研究 （○○○○）	代表	10,000 [30,000]	20	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 （総額　36,000 千円）*
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R9～R10・日本学術振興会）	○○と 依存性 究（○○○○）		[9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 （総額　9,000 千円）*
令和９年度○○財団研究助成金（R9・○○財団）	●●と□□の研究 （○○○○）	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載

＊（　）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和　年　月　日時点）

（2-1）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）　AMED 研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名 （研究開発代表者氏名）	役割 （代表・分担の別）	令和9年度の研究経費（直接経費）	エフォート	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由

			［期間全体の額］ （千円）	（%）	

＊（ ）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2-2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費) AMED 以外の研究費

（注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和9年度の研究経費(直接経費) ［期間全体の額］ （千円）	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和７年度〇〇財団研究助成金(R7～R10・〇〇財団	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)＊

＊（ ）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動

エフォート： 50 %

(1)(2)以外の「その他の活動」のイメージ(考え方の整理)
教育　エフォート： 20 %
診療　エフォート： 10 %
社会サービス　エフォート： 5 %
その他(学内事務等)　エフォート： 15 %

【研究開発分担者】(必要に応じてコピーして追加してください)

(1)応募中の研究費(令和　年　月　日時点)

(1-1)応募中の研究費　AMED 研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和９年度の研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R9～R13)	○○と△△の相関に関する実験的研究 (○○○○)	分担	1,000 [3,000]	20	

本人への配分予定額(直接経費)

研究開発期間全体で本人が使用する総額(直接経費)(予定額)

＊(　)内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(1-2)応募中の研究費　AMED 以外の研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和 9 年度の研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・基盤研究 B(R9～R11・日本学術振興会)	○○と△△に関する研究 (○○○○)	代表	10,000 [30,000]	20	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 36,000 千円)＊
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R9～R11・日本学術振興会)	○○と△△の□□への依存性に関する調査研究(○○○○)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円)＊

上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載

令和９年度〇〇財団研究助成金（R9・〇〇財団）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

＊（ ）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和 年 月 日時点）

（2-1）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費） AMED 研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和９年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円）	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由

＊（ ）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

（2-2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費） AMED 以外の研究費

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和９年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円）	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由

令和８年度〇〇財団研究助成金（R8・〇〇財団	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 （総額　5,000 千円）*

＊（　）内には、研究代表者の場合は研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

（3）その他の活動

エフォート：　50　%

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）
教育　　エフォート：　20　%
診療　　エフォート：　10　%
社会サービス　　エフォート：　5　%
その他（学内事務等）　エフォート：　15　%

10. これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（1）【AMED 事業】と（2）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。
■AMED 事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。
■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の代表者のみ。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）
資金制度名：
期間（年度）：R　年度～R　年度
課題名：
代表者又は分担者の別：
研究経費（直接経費）：　　千円
研究成果及び中間・事後評価結果：

（1）【研究開発代表者】AMED 事業

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
　××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
　××××の成果を得た。

【研究開発分担者】AMED 事業

（2）【研究開発代表者】それ以外の研究費

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
　××××の成果を得た。

【研究開発分担者】それ以外の研究費

11.　本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

(1)医療研究開発における患者・市民参画(PPI:Patient and Public Involvement)について

本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。(※詳しくは公募要領 3.4.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画(PPI)の推進」をご参照ください)

※記載に係るポイントは、AMED 公式ウェブサイトをご参照ください

AMED 研究への患者・市民参画:https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html

(2)「2.研究計画・方法」で記載している項目以外で、研究成果の目安となる数値指標等

記載例:薬効を示す候補化合物合成の収率は〇%を目指す。

(3)データベースへの登録・データシェアリングについて

本研究で得られたデータについては、〇〇データベースに登録予定。

(4)国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

(5)キーワード(疾患名以外、10 単語以内)

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例:研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位(臓器、組織、細胞等)、対象集団(妊産婦、AYA 世代など)、実験動物等、の具体名)

記載例:1.△△計測　2.〇〇合成阻害剤　3. . . . . .

(6)対象疾患(10 個以内)

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を 10 個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

記載例:1.△△感染症　2.〇〇病　3.□□症候群 . . . . . .

(7)性差を考慮した研究開発の推進について

性差の視点を研究計画に適切に組み込むことで、これまで見過ごされてきた科学的知見の発見や新たな社会的価値の創出が期待されます。このように性差を適切に考慮することは、研究の質向上に資す

る可能性があり、研究成果を患者さんへ届けるうえで重要です。AMED が支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、これを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性（SEX）」と「社会的・文化的性（GENDER）」の両視点を持つことが重要であり、AMED では研究開発提案書における記載において、本取組における現状を把握し、分析結果等を踏まえた段階的な取組を検討しています。令和 8 年度以降は、「生物学的性（SEX）」に着目しますので、本項目では、「生物学的性（SEX）」に基づき記載をお願いします。
（ https://www.amed.go.jp/content/000163016.pdf ）
（ https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html ）

提案者は本提案書作成にあたり、性差を考慮しましたでしょうか。またその理由はどのようなものでしょうか。下記の理由コードの「A-1～A-5」または「B-1～B-7」から選択し、回答欄に記載ください。その他（A-5 または B-7）を選択した場合は、理由も記載ください。

回答欄：該当する理由コードを記入（複数可）

理由コード

性差を考慮した	
A-1	既存研究や文献で性差の影響が報告されているため （例. 疾患の発症、病態、生理学的特性、治療反応等に性差が報告されている）
A-2	既存研究や文献で性差に関する知見が不足しているため（例. 新たな知見創出や研究領域の発展につながる可能性があるため）
A-3	研究の質を向上させるため
A-4	社会実装時の有効性・安全性・公平性を確保するため
A-5	その他（簡潔に記載してください）
性差を考慮しなかった	
B-1	既存研究や文献で性差の影響が認められないことを確認したため（自身の研究結果も含む）
B-2	現段階の研究開発フェーズでは性差を検討する必要性/優先順位が低いと考えたため （研究費/人的リソース/研究期間の制約も含む）
B-3	性差を考慮した研究デザインや解析方法に関する知識・経験が不足しているため
B-4	研究試料上の制約があるため（例. 性別情報の取得が困難、希少疾患等）
B-5	本提案の目的上、性差を考慮する必要がないため （例. 知財戦略支援、研究基盤整備、人材育成等）
B-6	性特異的疾患を対象としているため （例. 卵巣癌、前立腺癌等）
B-7	その他 （簡潔に記載してください）